在モントリオール総領事館メールマガジン ========== 2019/9/15
★☆　第２５１号　☆★
―――

◆　目次　◆

１　「伊澤修在モントリオール日本国総領事挨拶」
２　「総領事館からのお知らせ」
３　「寄稿」
４　「領事便り」
５　「広報・文化便り」
６　「日本関連行事等のお知らせ」
７　「ケベック州・大西洋４州政治経済情勢」

＊＊＊

１　伊澤修在モントリオール日本国総領事挨拶

ここ数日，涼しくなってきましたが，皆様如何お過ごしでしょうか。

皆様ご承知かもしれませんが，本年は日加外交関係樹立９０周年に当たります。その関連の行事の一つとして，先般，高円宮妃殿下がカナダの各地を歴訪され，当総領事館の担当しているプリンスエドワードアイランド（ＰＥＩ）州も訪問されました。ＰＥＩ州では，「赤毛のアン」縁の行事に出席され，また，ペリー副総督他のＰＥＩ州の要人の方々や多くの在留邦人の方々とお会いになり，日本とＰＥＩ州との友好親善関係の強化に貢献されました。

ＰＥＩ州滞在中，小官は妃殿下のお供をさせて頂きましたが，妃殿下の気さくなお人柄や細やかな気配り，卓越した英語力，スピーチの素晴らしさ，全てに感銘を受けました。様々な機会に，妃殿下は，「世界で差別的傾向が高まりつつある今日，日加の国民の kindred spirit が益々重要になっている」という強いメッセージを訴えられました。外交官として，この妃殿下のメッセージをしっかり受け止めて職務に努めていこうと思います。

先週末は日本語補習校の運動会がありました。参加した生徒達の生き生きした姿を見て嬉しくなるとともに，会場となった校庭（人工芝）の素晴らしさに驚きました。日本の学校ではこれほどの立派な校庭を見たことがありません。このような施設を使える子供達は幸せです。綱引きや障害物競走等，個人的にも大いに楽しませて頂きました。

今回の運動会の開催のためにご尽力頂いた補習校関係者の皆様，ボランティアの皆様，保護者の皆様，お疲れ様，そしてありがとうございました。子供達や家族にとって貴重な思い出となりました。

本日，日本では内閣改造があり，茂木新外務大臣が就任しました。カナダでも，１０月後半に総選挙が予定されています。両国の外交実施体制が刷新されていく中で，日本との関係においても，今後，様々な動きや交流が予定されています。ケベック，モントリオールとの我が国との間では文化や人的交流が既に盛んに行われています。この地域との関係を更に強化していくため，総領事館としては特に経済関係の強化に努めていく考えで，今後様々な取り組みを進めるつもりです。皆様のご理解とご協力をお願いします。

２　総領事館からのお知らせ

（１）２０１９年９月，１０月の休館日のお知らせ

１０月１４日（月）体育の日，Thanksgiving

１０月２２日（火）即位礼正殿の儀の行われる日

３　寄稿　～在留邦人の方のモントリオール出産体験記～

妊娠が分かった時，わたしは日本に一時帰国をしていました。第一子を出産したのは日本だったので，このまま滞在して出産するか，モントリオールに戻って出産するかを夫と話し合い，結局モントリオールで出産することに決めました。

モントリオールに戻ると，早速メディケアカードの登録申請をし，産院を探し始めました。その時点で妊娠十三週目。帰国中に日本の産婦人科で健診を受けて問題がなかったのと，今回は第二子で妊娠出産が全くの未体験では無かったので，然程焦りや不安はありませんでした。

日本では各自治体で妊婦への補助内容が違い，住む地域によっては補助が不十分なことも多く負担も大きいですが，モントリオールではメディケアカードを登録することで毎回の妊婦健診，出産費用の負担がほぼ無くなります。永住者ではない場合，個人で入るか家族で入るかに応じて年間の加入料金が異なります。

モントリオール市内にはいくつか大きな病院があり，わたしもその中の一つで出産することになりました。普段の健診は産院と提携している小さなクリニックで行い，出産そのものや血液検査，超音波健診など毎回は行わない複雑な検査は総合病院で行う方式でした。

健診内容は日本と違いかなりシンプル。まず健診の頻度が少ない。そして日本では毎回のように診察内容に含まれる超音波健診は妊娠期を通して全部で二回ほどしかなく，その代わりお腹の赤ちゃんが無事でいるかどうかを診るために，心音をお腹の上から確認できるコンパクトな機器がありました。血圧と体重は毎回チェックされますが，尿検査や腹囲を測ったりはありません。

例えば日本では妊娠中期以降にお腹の張りが頻繁に起こる場合，早産のリスクを抑えるために張り止めのお薬が出されたりすることがありますが，お腹の張りを訴えても「それが普通だから大丈夫」とのことで特に何もありません。

言語の問題も大きなハンディキャップであり，日本だったら簡単に質問できるようなことも伝えるのに苦労しました。わたしと違い夫は仕事柄フランス語には馴染みがあったので，健診時には毎回付き添ってもらいましたが，それでも妊娠・出産についての専門用語を理解するのは難しく常に辞書を片手に通院していました。悠長に構えていたわたしでしたが，出産が近づくにつれてこむら返りや浮腫などのマイナートラブルも増えていき，かといって特に対応してもらえるわけでもない状況だったので次第に不安が大きくなっていきました。

実際に陣痛が起こってから出産に至るまでの経緯は大体日本と一緒だったので特に問題はありませんでした。今回は二歳になったばかりの息子がいたので，息子の世話をしてくれる人が必要になり，日本にいる義母に来てもらうことになっていました。義母が到着して三日目にタイミング良く陣痛が始まり，予定通り息子の世話を義母に任せることができたので，無事に夫の立ち会

いのもとお産に臨めました。

また前回無痛分娩にしなかったことを心から後悔したので今回は無痛分娩にすると決めていました。特に何も言われずLDR室（陣痛から分娩，回復を同じ部屋で行う）に通されてしまったので言うタイミングが分からず，陣痛に少し苦しみました。途中様子を見にきた看護師さんに無痛分娩希望を伝えたところ，特別な手続きはなく割とあっさり麻酔を入れてもらうことができました。リスクは少なからずあるので一概に良いとは言い切れませんが，わたしは無痛分娩にして良かったと思います。

前回の出産は苦しくて辛くて産まれた瞬間「やりきった。やっと終わった。」という気持ちが強かったのですが，今回は出産自体がそこまで苦しくなかったので気持ちの余裕があり，産まれた時には自然と涙が溢れてしまいました。日本では無痛分娩を取り入れている病院がまだまだ少ないことと，例え無痛分娩という選択肢があったとしても出産費用が高くなることとで，二の足を踏んでしまう妊婦さんも多いかと思いますが，ここカナダでは特に高いハードルがあるわけでもなくこのような選択肢があるのは良いことだと感じました。

個人的にカルチャーショックだったのは病院食です。想像以上に質素で足りず，夫に病院近くのマクドナルドで朝食を買いに行ってもらいました。産後三十六時間で退院というのも日本からすると驚きの時間かもしれませんが，むしろ早く家に帰りたくて退院が待ち遠しかったです。

海外での出産はある意味で究極の異文化体験です。日々生活する中で経験するさまざまな事柄に海外で出産するという項目が増えることになろうとは思ってもみませんでしたが，こうして異国の地で無事に産まれてくれたことに感謝する毎日です。

４　領事便り

（１）当館管轄州での１０月の領事出張サービスについて（再度のご案内）

当館では，モントリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために，領事出張サービスを実施しています。

１０月の領事出張サービスについて，以下の日程で実施しますので，お知らせいたします。

近隣にお住まいの皆様におかれましては，是非この機会をご利用くださいますよう宜しくお願いいたします。

〇フレデリクトン領事出張サービス

日時　　：２０１９年１０月２０日（日）午前１０時～午後１２時，午後１時～午後２時

場所　　：Fredericton Public Library（市立図書館）

（Wolastoq Room（地上(RC)階））

住所　　：12 Carleton Street, Fredericton, NB, E3B 5P4

電話　　：506-460-2800

申込締切：２０１９年１０月４日（金）

【詳細】https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_NB_20191020.html

領事出張サービスに関するご照会は，当館領事班までお願いします。
電話　：514-866-3429（代）
E-mail：consul@mt.mofa.go.jp

（２）２０２０年度前期用教科書の無償給与の申込みについて（再度のご案内）
当館では，管轄地域に在住する義務教育学齢期にある日本人子女のために，日本の教科書の無償給与を行っています。
２０２０年度前期用教科書の申込受付を９月９日（月）から開始しています。（申込締切：９月２３日（月）当館必着）

日本語補習校や日本語センターなどに通っている子女は，同施設でとりまとめて教科書の申込・給与を行いますので，当館に申し込む必要はありません。

ア　教科書の無償給与対象者の条件
教科書の無償給与対象者の条件は，以下のとおりです。
（ア）日本国籍を保持し，海外に長期滞在（永住権無し）する義務教育学齢期の子女
（イ）重国籍（カナダ国籍等）で，日本国籍を保持している義務教育学齢期の子女
（ウ）日本国籍を保持し，本来は長期滞在者であるが，在留国の事情により便宜的に永住査証（永住権）を取得して滞在している義務教育学齢期の子女
（エ）日本国籍保持者で永住権を取得しているが，将来，日本で高等教育を受ける意思，または就労する意思を有する義務教育学齢期の子女
【２０２０年度の義務教育学齢期】
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/Schoolyear_2020-2021.pdf

イ　教科書無償給与の申込方法
（ア）子女の在留届が未提出の方は，まず在留届をご提出ください。
（イ）以下の当館ホームページから「教科書申込書」をダウンロードしてください。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/textbook_2020_1.pdf
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/textbook_2020_1.xls
（ウ）教科書申込書に必要事項を記入の上，日本国籍確認書類の写しを添付し，当館領事班教科書係あてに，郵送・ＦＡＸ・電子メールのいずれかの方法で，９月２３日（月）（当館必着）までにお申込みください。
【日本国籍確認書類】
・お子様の有効な日本国旅券，又は，戸籍謄本（発行日から６ヶ月以内）

ウ　教科書の受領方法
前期用教科書は例年３月中旬に当館に到着し，教科書を申し込まれた方にメールで連絡いたします。受領は，当館窓口，又は郵送・宅配便での配送が可能（送料申込者負担）です。

教科書無償給与申込みに関する詳細は，以下の当館ホームページをご確認ください。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/textbook.html

教科書無償給与に関するお問合せは，当館領事班教科書係までご照会ください。
電話　：514-866-3429（代）
E-mail：receptionist@mt.mofa.go.jp

５　広報・文化便り

当館では，日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか，知り合いの方についての情報を（ culture@mt.mofa.go.jp ）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（１）日加修好９０周年記念事業の募集

２０１９年は，２０１８年に続いて，日本とカナダが外交関係設立９０年目を祝います。これは２０１８年が日本の公使館をカナダに設立して９０年目に当たり，２０１９年がカナダの公使館を日本に設立して９０年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を，両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため，今年も引き続き日加修好９０周年を記念するにふさわしい事業を募集し，「日加修好９０周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は，広報媒体（ポスター，パンフレット，チラシ，プログラム，ウェブサイト，看板，垂れ幕等）に「日加修好９０周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか，管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好９０周年記念行事カレンダー」に掲載されることになります。奮ってご参加ください。

日加修好９０周年記念事業の認定基準，申請方法等，詳細はこちらからご確認ください。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html

（２）日加修好９０周年事業

ア　カナダ巡回日本映画祭

国際交流基金トロントとの共催で，カナダ巡回日本映画祭を開催します。入場無料，先着順で御入場いただきます。

【モントリオール】

全て英語字幕つき上映です。

場所：Cinematheque quebecoise
335 De Maisonneuve Blvd East, Montreal, QC
https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/cycle/festival-du-film-japonais-2019

（ア）「Where I Belong（しゃぼん玉）」（2017／108 分）

原作：乃南アサ，脚本・監督：東伸児，出演：林遣都，市原悦子，藤井美菜，相島一之ほか

日時：９月２０日（金）１８時半
https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/film/where-i-belong-shabondama?pid=31439
（イ）「The Night I Swam（泳ぎすぎた夜）」（2018／79 分）
監督：五十嵐耕平，ダミアン・マニヴェル
出演：古川鳳羅，古川蛍姫，古川知里，古川孝ほか
日時：９月２１日（土）１４時１５分
https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/film/night-i-swam-oyogisugita-yoru?pid=31440
（ウ）「Drowning Love（溺れるナイフ）」（2016／111 分）
監督：山戸結希，出演：小松菜奈，菅田将暉，重岡大毅ほか
日時：９月２１日（土）１６時
https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/film/drowning-love-oboreru-naifu?pid=31441
（エ）「Summer Wars（サマーウォーズ）」（2009／114 分）
監督：細田守
日時：９月２２日（日）１４時
https://www.cinematheque.qc.ca/en/programmation/projections/film/summer-wars?pid=31624

【ケベック市】
協力：ラヴァル大学，エスパスジャポン
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/Qc_2019JFF_Poster.pdf
（ア）「テルマエ・ロマエ」（2012／108 分）＊仏語字幕
監督：武内英樹，出演：阿部寛，上戸彩，北村一輝，市村正親ほか
日時：１０月４日（金）１９時
場所：ラヴァル大学
Room 4117（４階），Jean-Charles-Bonenfant Pavilion Library
（イ）「Her Love Boils Bathwater（湯を沸かすほどの熱い愛）」（2016／125 分）
＊英語字幕
監督・脚本：中野量太，出演：宮沢りえ，杉咲花，伊東蒼，松坂桃李ほか
日時：１０月５日（土）１４時半
場所：ラヴァル大学，Hydro-Quebec Auditorium
＊映画上映前１３時より，同会場にて日本関連のプレゼンテーション（仏語）が行われます。

【フレデリクトン（ＮＢ州）】
全て英語字幕つき上映です。
場所：University of New Brunswick，Tilley Hall 102，Fredericton，NB
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/NB_2019JFF_Poster.pdf

（ア）「テルマエ・ロマエ」（2012／108 分）
　　監督：武内英樹，出演：阿部寛，上戸彩，北村一輝，市村正親ほか
　　日時：１０月９日（水）１８時半
（イ）「Japanese Girls Never Die（アズミ・ハルコは行方不明）」（2016／100 分）
　　監督：松居大悟，出演：蒼井優，高畑充希，太賀ほか
　　日時：１０月９日（水）２０時半

イ　「墨土炎」展（ケベック市）
（ア）書道・陶芸・フラワーアレンジメントのデモンストレーション
　９月２９日から開催される「墨土炎」展に先駆け，書道家寺本小鳳先生，陶芸家ミリアム・ブシャー氏，視覚芸術家エレン・アラー氏によるデモンストレーションが行われます。（無料）
　　日時：９月２１日（土）１３時～１５時半
　　場所：ラヴァル大学
　　　La salle le Cercle, pavillon Desjardins ４階
https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/evenement-dencre-de-terre-et-de-feu
（イ）「墨土炎」展
　書道家寺本小鳳先生，陶芸家ミリアム・ブシャー氏，視覚芸術家エレン・アラー氏による展示会です。（入場無料）
　　日時：９月２９日（日）～１０月２７日（日）水曜～日曜，１２時～１７時
　　場所：Atelier Myriam Bouchard
　　　291 Christophe-Colomb Est, #205, Quebec

６　日本関連行事等のお知らせ
＊以下の日本関連行事は，必ずしも当館が共催，後援，保証している行事ではありません。また，同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については，各主催団体へ直接お問合わせください。
＊外部のサイトへのリンクは，あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては，当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

（１）日加修好９０周年記念事業
　ア　モントリオール市立植物園日本館展示「Hiroshima, la vie en heritage」
　モントリオール市と姉妹都市でもある広島市に関する展示が行われています。（植物園入園料がかかります。）
　期間：５月１５日（水）～１０月３１日（木）
　場所：モントリオール市立植物園日本館
　　4101 rue Sherbrooke Est, Montreal
　問合せ先：514-872-0607
　http://calendrier.espacepourlavie.ca/hiroshima-the-legacy-of-life-857793

イ　エスパス・ジャポンでのイベント（ケベック市）

（ア）Cine Nippon

ラヴァル大学図書館司書アニー・ベルベ氏監修の日本映画上映会です。

日時：９月５日（木）～１１月２８日（木）毎週木曜日１８時

場所：ラヴァル大学図書館４階（Local: 4117）

Bibliotheque de l'Universite Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, niveau 4, Local: 4117

https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/bibliocine-pleins-feux-sur-le-cinema-japonais

（イ）日仏語ランゲージエクスチェンジ

日時：（隔週月曜日）１０月７日，２１日，１１月４日，１８日，１２月２日

（仏語）１９時～１９時４５分　（日本語）１９時４５分～２０時３０分

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliotheque de l'Universite Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, Espace Japon, niveau 00

https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/instantanes-dimmersion-francaise-et-japonaise

（ウ）エスパス・ジャポン書道部による書道展示会

寺本小鳳先生指導のラヴァル大学エスパス・ジャポン書道部の生徒による作品の展覧会が行われます。

日時：１０月１６日（水）～１２月１５日（日）

場所：ラヴァル大学図書館４階

Bibliotheque de l'Universite Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, niveau 4

（エ）水墨画アトリエ

今井則子氏指導の水墨画アトリエです。

日時：１１月１７日（日）１３時～１６時

場所：ラヴァル大学図書館４階（Local: 4285）

Bibliotheque de l'Universite Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, niveau 4, Local: 4285

https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/decouvrir-la-peinture-a-lencre-suiboku-ga-et-le-poeme-japonais-haiku-avec-lartiste-peintre-noriko-imai

（２）その他のイベント

ア　Gardens of Light（光の庭園）

期間：９月６日（金）～１０月３１日（木）１８時～２２時

場所：モントリオール市立植物園日本庭園・中国庭園・先住民庭園

（植物園入園料がかかります。）

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先：514-872-0607

http://calendrier.espacepourlavie.ca/gardens-of-light-864390

イ　ジャパネスク（ハリファックス市）

日時：９月２２日（日）

場所：“The Oaks”, Saint Mary’s University

923 Robie Street, Halifax

入場無料

ウ　生け花インターナショナル９月の行事

四流派（池坊，古流松藤会，小原，草月）のデモンストレーションが行われます。

日時：９月２４日（火）１３時

場所：Mountainside United Church

687, avenue Roslyn, Westmount

参加費：２０ドル

問合せ・予約連絡先：田中和子氏（ kazuko.dorangeville@gmail.com ）

エ　ビジュアル・アート展「A piece of stone」

宮崎雅子氏による作品：写真，詩，セラミック，映像の展示です。撮影地は，宮城県幸島と「遠野物語」の舞台である岩手県遠野市です。

オープニング：１０月３日（木）１９時

期間：１０月４日（金）～１１月１７日（日）

場所：Maison de la culture Cote-des-Neiges

無料

https://www.accesculture.com/activite/Masako_Miyazaki___A_piece_of_stone

オ　第４８回ヌーボー映画祭

期間：１０月９日（水）～２０日（日）

詳細はこちらから御確認ください。　https://nouveaucinema.ca/en/

カ　ケベック日本酒協会主催：第２回日本酒イベント「カンパイ・モントリオール」

日時：１０月１０日（木）

１３時～１６時：企業・メディア向けセミナー・日本酒試飲

１７時半～２０時半：一般向け日本酒試飲

場所：Marche Bonsecours　２階，the Ballroom

350 rue Saint-Paul Est, Montreal

チケット等詳細はこちらからご確認ください。

https://www.facebook.com/events/2255713287859202/

７　ケベック州・大西洋４州政治経済情勢

（１）政治

ア　ケベック（ＱＣ）州

・８月１日，ケベック州控訴裁判所は，政教分離，公職従事者の宗教的シンボル着用に関する州法２１差止請求の審理実施を決定。

・８月２１日，プラント・モントリオール市長は，モントリオール島西部の公園建設計画を発表。３０平方キロメートル，ニューヨークのセントラルパークの８倍，モンロワイヤル公園の１５倍の広さになる予定。

・８月３０日，ルゴー州首相は，ジロー州国際関係・仏語圏大臣が健康上の理由のため，州議会再開の９月１７日まで静養すると発表。

・８月３０日，プルー州自由党議会代表が議員辞職を発表。

・８月３０日，連邦政府は，アメリカとの国境を違法に越えて来た庇護希望者の受け入れ費用として，ケベック州政府に対し２．５億加ドルを支払うことに合意。

イ　ニューファンドランド・ラブラドール（ＮＬ）州

・８月８日，ボール州首相がセント・ジョンズでトルドー連邦首相と会談。ＮＬ州は財政赤字のマスクラット滝水力発電所の年内稼働に伴う電気料金の大幅値上げ緩和のため，２億加ドルを必要としている。ボール州首相は会談後，連邦政府は２億加ドルかそれ以上支援してくれるかもしれない旨発言。同プロジェクト建設現場では，前日に貯水作業開始。

ウ　プリンスエドワードアイランド（ＰＥＩ）州

・８月７日，連邦政府は，コンフェデレーションセンターのイベント運営支援のため，通常年間３００万加ドルのところ１００万加ドルを上乗せして支出。

・８月８日，連邦政府は，２０１２年以来同州から撤退していた移民省事務所を再開。

・８月１０～２４日，世界アカディア人会議及び関連事業がＰＥＩ州とＮＢ州南東部の各地で開催。

・８月１４日，連邦政府は，州北岸地域の自然・文化保全を目指した国立公園拡張検討開始。同地域には鳥類ほか絶滅危惧種が多く生息，またミクマクにとっても重要な文化拠点となっている。

・８月２６日，マイヤーズ州運輸大臣は，州全域でウーバーやリフト等のライドシェアサービスの運用を可能にするための法改正の準備中である旨発言。

・８月２７～２９日，憲仁親王妃久子殿下によるＰＥＩ州御訪問。ルーシー・モード・モンゴメリ記念公園開園関連式典，ペリー州副総督主催歓迎レセプション及びプリンスエドワードアイランド大学主催歓迎行事等への御臨席の他，同州の在留邦人とも懇談された。

エ　ノバスコシア（ＮＳ）州

・８月２日，マクニール州首相は，ケープ・ブレトン島ニュー・ウォーターフォードに病院，学校，長期療養施設から成る複合施設建設を発表。

・８月２日，マクニール州首相は，州進歩保守党３議員の辞職に伴い，９月３日に補欠選挙を実施すると発表。

・８月６日，マクニール州首相は，州中央部ミドルトンに新たに医療センターを建設すると発表。建設費用は１，２００万加ドル。

オ　ニューブランズウィック（ＮＢ）州

・８月２日，ロワ・ヴィエノー州副総督が，がんのため死去。

・８月１３日，カナダの処方薬を合法的に輸入することを可能にする法改正を行うとの前月のトランプ米大統領の発表を受け，カナダ国内の薬不足を懸念する州薬剤師協会は，連邦政府に対し，薬の在庫量確保のための法律を変更しないよう要請。現行法では，カナダ国内の製薬会社は大量の薬を国外販売できない。

・８月１４日，連邦政府は，２年連続で洪水被害に見舞われたフレデリクトン市の洪水対策のため，１，１４０万加ドル支出を発表。支援金はインフラ強化等に使われる。

・８月２２日，カナダ警察ＮＢ支部が，不正経理の疑いがあるとして州副総督事務所を捜索。詳細は明らかにされていない。

・８月２６日，州政府は，新学期より州内の公立小学校と未就学児教育におけるＮＢ孔子学院のプログラムを廃止。中学・高校では，州と孔子学院との間で交わされていた契約どおり２０２２年までプログラムを継続する。全てのプログラムの即時完全廃止を目指していたカーディ州教育大臣にとっては一部譲歩した形。

・８月２６～２８日，公立学校と認可保育園に通う子供の予防接種原則義務付けに向け，教育法と公衆衛生法改正を目指す州政府が３日間のヒアリング実施。

（２）各州世論調査結果（未確定分は除く）

ア　州議会選挙（政党支持率）

・ＮＬ州（ＭＱＯ調べ（以下同じ），７月２５～３１日）：自由党５０%，進歩保守党（ＰＣ）３４%，新民主党（ＮＤＰ）１３%，ＮＬアライアンス１%，その他３%

・ＰＥＩ州（７月３１日～８月６日）：ＰＣ４０%，緑の党３４%，自由党２３%，ＮＤＰ２%，その他１%

・ＮＢ州（８月６～１４日）：ＰＣ４３%，自由党３１%，緑の党１３%，ピープルズ・アライアンス９%，ＮＤＰ３%

イ　連邦議会選挙（政党支持率）

・ＱＣ州（アバカス(Abacus)調べ，８月２～６日）：自由党３６%，保守党２４%，ブロック・ケベコワ（ＢＱ）１８%，ＮＤＰ９%，緑の党９%，人民党（ＰＰＣ）２%，その他２%

・ＱＣ州（レジェ・マーケティング(Leger Marketing)調べ，８月１６～１９日）：自由党３４%，保守党２７%，ＢＱ１８%，緑の党９%，ＮＤＰ８%，ＰＰＣ４%，その他０%

・ＱＣ州（同上，８月２７～２９日）：自由党３４%，保守党２３%，ＢＱ２０%，緑の党１１%，ＮＤＰ７%，ＰＰＣ４%，その他１%

・大西洋４州（ナラティブ(Narrative Research)調べ，７月３１日～８月２２日）：自由党４３%，保守党３０%，緑の党１５%，ＮＤＰ１０%，その他２%

・ＮＬ州（ＭＱＯ調べ，７月２５～３１日）：自由党４６%，保守党３８%，ＮＤＰ１１%，緑の党２%，ＰＰＣ２%，その他１%

・ＮＬ州（ナラティブ(Narrative Research)調べ，７月３１日～８月２２日）：自由党４８%，

保守党３１％，ＮＤＰ１７％，緑の党３％
・ＰＥＩ州（ＭＱＯ調べ，７月３１日～８月６日）：自由党４０％，保守党３４％，緑の党２１％，ＮＤＰ４％，その他１％
・ＰＥＩ州（ナラティブ(Narrative Research)調べ，７月３１日～８月２２日）：保守党４０％，自由党３５％，緑の党２１％，ＮＤＰ３％，その他１％
・ＮＳ州（同上）：自由党４２％，保守党２７％，緑の党１８％，ＮＤＰ９％，その他３％
・ＮＢ州（ＭＱＯ調べ，８月６～１４日）：自由党４１％，保守党４０％，緑の党９％，ＮＤＰ６％，ＰＰＣ４％，その他０％
・ＮＢ州（ナラティブ(Narrative Research)調べ，７月３１日～８月２２日）：自由党４０％，保守党３２％，緑の党２０％，ＮＤＰ６％，その他１％

（３）経済
ア　ＱＣ州
・８月５日，ボンバルディアを含むコンソーシアムは，エジプトのモノレール新線建設に関する４５億ドルの契約を受注。
・８月１０日，モントリオール観光局によると，２０１９年にモントリオールを訪れる観光客数は前年比２％増の１，１２０万人となる見込み。
・８月１６日，連邦政府はＣＥＴＡとＣＰＴＰＰ批准による収入減少の補償金として酪農家に今後８年間で１７．５億加ドル支払うことを発表。全酪農家の４８％はケベック州生産者が占める。
・８月１９日，ル・ソレイユ，ラ・トリビューン，ル・ヌヴェリスト，ル・ドロワ等の州地方紙を保有するグループ・キャピタル・メディアが破産申請。州政府は，同地方紙の少なくとも今年中の存続を可能にするため，５００万加ドルの緊急財政支援実施を決定。
・８月２３日，トランザットの株主総会で，エアカナダによる買収案の受け入れが決定。同取引は今後連邦運輸省を始めとする複数の規制当局による承認を経て，２０２０年前半に完了予定。
・８月２５日，州内の養豚業者は連邦政府に対し，中国によるカナダ産豚肉製品禁輸措置から２ヶ月経ち収入が落ち込んでいる状況を訴え，緊急財政支援実施を要請。
・８月２７日，ケベック州の今年５月のＧＤＰは２．８％と，カナダ全体の１．４％の２倍となった。好調の要因は財，サービス，農業，林業，建設，製造。
・８月２８日，三菱航空機がケベック州のロビイストとして登録。同社の親会社である三菱重工は，現在ボンバルディアと小型ジェット旅客機（ＣＲＪ）事業買収手続き中。

イ　大西洋４州
・８月２１日，連邦漁業海洋省は，セントローレンス湾のタラの生息数が，２００９年より実施中の漁獲制限にも関わらず１９８０年代の水準のわずか５％にまで落ち込んでおり，いずれ絶滅するであろうと警告。アザラシと気候変動が主な要因。

ウ　ＮＬ州
・８月１６日，石油大手のハスキーエナジーは，昨年１１月に原油漏れ事故を起こして以来停止中のシーローズ油田の稼働を近日中に再開すると発表。

エ　ＰＥＩ州

・８月２日，キャヴェンディッシュ・ファームズは，サマーサイド市近郊のニュー・アナンに研究所を開設するため６００万加ドル支出すると発表。高温・乾燥に適したジャガイモを研究する。同社は石油精製所や製材所を所有する巨大企業集団ＪＤアーヴィング（本社ＮＢ州セントジョン）傘下。

・８月７日，アイスクリーム製造企業カウズが，ケベック州内１号店をケベック市旧市街に開店。カウズはオンタリオ州，アルバータ州，ブリティッシュコロンビア州に既に進出している。

オ　ＮＳ州

・８月１５日，ハリファックスのアーヴィング造船所がカナダ海軍フリゲート艦に関する５億加ドルのメンテナンス契約を受注。先月はＱＣ州デイヴィ，ＢＣ州シースパンの各造船所もそれぞれ同じ内容のメンテナンス契約を受注している。

カ　ＮＢ州

・８月１３日，シェールガス開発企業コリドー・リソーシズは，州南東部サセックスのシェールガス開発再開のための資金集めを中断。同社はギャラン前政権（自由党）が２０１４年に州全域における水圧破砕のモラトリアムを実施する前は，当地でシェールガス採掘を行っていた。今年６月，州政府がシェールガス開発再開を可能にするための規制変更を密かに行っていたことが発覚したが，その前月には連邦政府が，同地域を含む州土の３分の１に及ぶ南東地域に対する土地所有権を含む先住権原を主張するエルシポグトグ・ミクマク・ファースト・ネーションとの話し合いを開始するための覚書を締結しており，州政府が規制変更を適用できない状況になっていた。

［在モントリオール総領事館メールマガジン］

〇このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

〇配信中止・配信先変更を希望される方は，「配信中止（又は登録解除）」，「配信先変更」を希望する旨明記の上，　emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし，在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は，同ページ内の，「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので，そちらをご利用ください。

〇バックナンバーの閲覧は，以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

〇参考ホームページ

首相官邸ホームページ　（ www.kantei.go.jp ）

外務省ホームページ　（ www.mofa.go.jp/mofaj/ ）
在カナダ大使館ホームページ（ www.ca.emb-japan.go.jp ）
当館ホームページ
（ https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html ）
当館 Facebook（ www.facebook.com/JapanConsMontreal ）

〇発行：在モントリオール日本国総領事館
Consulate General of Japan in Montreal
1 Place Ville Marie, Suite 3333,
Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

〇本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当（ emagazine@mt.mofa.go.jp ）までご相談ください。

■----------■